

身近にある生活家電に起因する火災と予防対策

3月1日(水)～7日(火) 春季全国火災予防運動

火災が発生しやすい時季に、火災予防意識の一層の普及と火災発生の防止を行い、逃げ遅れなどによる死者の減少と、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年3月1日から7日までの7日間、春季火災予防運動が実施されています。この春から新しい生活が始まるという人も多いと思いますので、今回は身近にある生活家電に起因する火災と予防対策についてご紹介します。

問合せ 富士山南東消防本部予防課 ☎ 972・5802

⚠️ 白熱電球発光時の表面温度は100℃以上 ⚠️

クリップライト、間接照明器具

近年ではLED電球などに置き換わりつつあるものの、暖かみのある光への人気や調光が可能であるという利便性から、白熱電球もまだ身のまわりには多く見かけられます。一方で白熱電球は、電球部分に布団や洗濯物などの可燃物が接触し、蓄熱状態が続くことで出火することがあります。



予防対策

- ▶ 転倒、落下しないように安定した場所に設置しましょう。
- ▶ 布団や衣類など、燃えやすいものを近くに置かないようにしましょう。

⚠️ 節電の今こそ危険を察知するチャンス ⚠️

蛍光灯

蛍光灯は、白熱電球に比べてランプ自体の発熱は少ないものの、点灯させるために必要な安定器という部品に注意が必要です。

安定器は、絶縁されたエナメル線を巻き付けたコイルが使われており、古くなるとエナメル線がショートして出火することがあります。



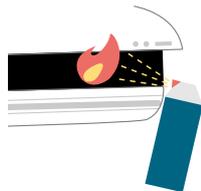
予防対策

- 次のような症状があったときは、直ちに使用を中止し、器具の交換などを検討しましょう。
- ▶ 異音や異臭がする ▶ ランプがちらつく
- ▶ 異常に発熱している

⚠️ 意外と知られていない掃除時の注意点 ⚠️

エアコン

エアコンは、室内機にある熱交換器で冷やされた空気や温められた空気を室内に送っていますが、この熱交換器がほこりなどで汚れると、熱をうまく伝えられず運転効率が低下します。この熱交換器を清掃するために市販の洗浄スプレーを使用し、誤って温度調整を制御する基板などの電気部品に洗浄液をかけると、ショートして出火することがあります。



予防対策

洗浄スプレーを使用するときは注意書きをよく読み、電気部品にかからないよう注意しましょう。

⚠️ 古くなった物を使用するときには要確認 ⚠️

扇風機

扇風機は、モーターで羽を回転させて風を作り出すという比較的簡単な構造ですが、古くなると、モーターのコイルやコンデンサーの内部回路がショートして出火することがあります。



予防対策

- 次のような症状があったときには、直ちに使用を中止しましょう。
- ▶ スイッチを入れても回らない
- ▶ 羽の回転速度が遅い、不安定
- ▶ 異音、異常な振動や焦げくさい臭いがする
- ▶ モーター部分が異常に発熱している

以上の火災予防対策を行うとともに、火災の覚知を早める住宅用火災警報器の設置や定期的な点検を行うようにしましょう。